

# 5歳のマイスターが開発した、 野菜が好きになるドレッシング

第286号 2022年8月22日発行

## ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や  
ご要望に応えるコンシェルジュがいる  
ように、保育においても様々な  
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=  
ミマモルジュとして、保育に関する  
ご要望にお応えしていけるよう  
活動していきます。

株式会社ガガヤ 奥山卓矢

## こどもドレッシング

本誌、第278号でご紹介しました東京都にある、三茶こだま保育園様の「5歳のマイスターが開発したドレッシング」の保育実践の詳細を栄養士の先生にインタビューをさせていただきました！

インタビュー記事につきましては、弊社発行の「竹取新聞」に掲載しております。

- ・マイスターとは一体どういった役割なの？
- ・そもそも、販売に至った経緯は？
- ・何がきっかけの取り組み？

と私自身も疑問に思うことが多く、三茶こだま保育園の園長先生にインタビューの依頼をさせて頂いたところ、「だったら、栄養士の先生に聞いてもらった方がいいですよ！」と快くお引き受け下さり、その詳細を聞かせて頂きました。

「竹取新聞」2022年8月号は前編として、ドレッシングが販売に至る実践のきっかけを中心にインタビューをしています。

2022年9月号（来月発行）では、マイスターの役割や、他の子どもたちからの反応など（声）など掲載しています。

「竹取新聞」の紙面の関係上、書ききれなかったため、こちらで一部こぼれ話をご紹介します。

園長の石田先生は、「コロナがきっかけで始まったことで、まさか販売することになるとは思っていませんでした。だからと言って、たくさん売りたいとかは考えていません。コロナで食育を止めてしまったという話を他園から聞きますが、子どもたちに少しでも体験できる機会を用意出来たらと思い、職員と試行錯誤しながら取り組んでいます」。と園長からもその想いをお聞きしました。

